

令和5年1月～令和7年3月

【観光に関する意見例】

開催地	主なご意見	対応状況等
橋本市	地方には地場産業と観光産業しか残っていないので、これらに力を入れていきたい。	－
橋本市	J R 西日本のサイクルトレイン電車を紀北まで走らせていただくよう要望してもらいたい。	和歌山線における導入について働きかけを行った結果、10月6日より同線においてサイクルトレインの導入に向けた実証実験が開始。
田辺市中辺路町	外国人観光客への「清姫太鼓」の体験等、今後、長く続けていくために、許認可や事業展開のやり方などを教えてほしい。	担当課において説明済。
新宮市	新宮紀宝道路が完成した際には、和歌山県内だけでなく三重県も含めたイベントを企画しているので、和歌山県としても協力をいただきたい。	イベント実行委員会にオブザーバーとして参加。
新宮市	速玉神社、神倉神社などの霊場が観光地化している。コロナ禍以降、インバウンドの客層が変わり、トイレが汚れているように思う。	管内JR主要駅（新宮・紀伊勝浦・串本）にて外国人観光客向けマナー啓発動画を活用した広報を実施。
岩出市	アートをテーマに地域を活性化し、他県からの来訪者も取り込んでいきたい。 また、来訪された方が日帰りではなく宿泊してお金を落としてもらえるようにしたい。	アートをテーマにしたおすすめサイクリングコースを作成し、ホームページに掲載。
紀美野町	観光や移住定住推進について、引き続き見守って時々支援をお願いしたい。	地域と情報交換、連携しながら支援していく。
紀美野町	土日は天文台に多くの方が訪れるが平日の集客が課題。大型バスが入れないと伝えると断られることが多い。現在はマイクロバスしか入ることができず、大型バスが入れるように整備してほしい。	－
有田川町	清水地域でカーナビが細い方の道を指示することがあるので、何か対策をしてほしい。	関係機関に推奨ルートの変更を要望済。また、案内表示等を順次整備中。
日高町	コロナ禍で、従業員の半数以上が辞職し、従業員の確保に苦慮している。	従業員の確保については、課題として認識。
日高町	スケールメリットを活かして、広域で観光振興に取り組んでいきたいが、県としても応援なり支援を検討してもらえたらありがたい。	観光資源の掘り起こしということで、熊野古道紀伊路ウォーキングツアーを開催。 管内市町村と広域観光振興協議会を含め、民間企業との連携協定を締結。多くの方が訪れる魅力的な観光資源となるよう、取組を進め、地域振興に寄与することを目指す。
由良町	由良町は、山の幸、海の幸、金山寺味噌や醤油発祥の地など貴重な観光資源や素材に恵まれている。由良町の良さをPRしていければと思っている。	－

白浜町	観光について。かつての白浜は夏場が閑散期で、それを解消するためにイベントをたくさんやって、白浜に夏のイメージが付いた。今度はそこからの脱却。秋冬はやはり温泉だと思う。	ー
白浜町	和歌山県の南の方一円を受け入れ地域にして育てていけば、まだまだ素晴らしい教育旅行の受け入れ地域になると思う。	令和7年度に西牟婁振興局で民泊受入を希望する家庭を対象とした研修会を実施した（令和7年6月28,29日）。また、同年度内にて環境整備（防災グッズの整備等）の支援を実施予定。
上富田町	サイクリングの振興に関し、熊野三山の連携を強くしていきたいので、県にも支援してほしい。	担当課において発言者及び関係者と連携し、取り組みへの支援を実施。
上富田町	世界遺産である「八上王子」と「稲葉根王子」付近にここが世界遺産と分かる看板等を設置してほしい。	上富田町観光協会が設置済み。
那智勝浦町	日本のお土産文化は、あげた人ともらった人の絆が深まり、もらった人もその旅行先に興味を持ってもらえる優れた文化であるが、近年お土産を買う人が減少しているので、インバウンド客も含めて、お土産文化の良さを情報発信してほしい。	観光情報誌やホームページに掲載し、情報発信を行った。
古座川町	紀南地域の観光協会が連携して広域で地域の魅力を発信していく取組を進めている。県にもサポートをお願いする。	振興局としても、熊野地域の広域観光に関する取組を進めている旨説明し、協力を要請。
串本町	公式ロケット見学場の近くにあるJR浦神駅をロケットをイメージした仕様にしたい。	令和6年12月に行われたカイトスロケット2号機打ち上げに合わせ、両駅の外観を宇宙をイメージした色に塗装している。
串本町	古座川町住民のなかには、ロケットに関して疎外感を感じている人もいるので、県が先頭を切って、一緒にやりましょうと働きかけていただきたい。	管内市町村や商工会の会議で働きかけを行うなどの取組を実施。

【地域づくり・移住定住推進に関する意見例】

開催地	主なご意見	対応状況等
和歌山市	特定地域づくり事業協同組合制度の市町村をまたいだ活用の検討している。	地域地域で人口が減ってくるので、ネットワークを組みましようということをどんどんやっていきたい。
橋本市	橋本市の補助金（橋本市移住起業補助金）の使い勝手を改善してほしい。	橋本市で対応済。
橋本市	県外から移住してきたので、自分が移住してきた地域をPRしていきたい。	－
橋本市	明治の建物をリノベーションして一般公衆浴場にするという日本初の取組を進めており、公衆浴場の許可を取るため保健所や県庁の担当部署に相談している。	令和５年度から相談をいただく中、昨今の全国的なアウトドアサウナの流行や多様化する消費者ニーズを踏まえ、公衆衛生を担保するとともに、現行の衛生管理の観点から必要な規定の整備及び見直しを行うため、令和６年９月議会において条例を改正。
有田市	次世代の子供や地域に対してまちの誇りを発掘して継承し、女性がいきいきと活躍するためのNPOを法人を運営しているが、資金面が課題。	有田市長より、資金調達は、ふるさと応援寄付でNPOが営業して得た寄付をそのまま受ける仕組みを作っていることを回答。
田辺市	三川地区の休耕田（棚田）が耕作放棄地になっているので活用してワイン用のブドウを栽培している。輝け三川という団体を2月に正式に発足して、有志で今後の活動について話し合っているところ。	左記団体より令和6年度過疎集落再生・活性化支援事業として申請があり、事業承認。今後も継続的に伴走支援を実施。
紀の川市	どのようにすれば色々な方と繋がれるのか、他の地域はどうしているのか知りたい。	紀の川市で開催したこれまでのタウンミーティングに参加したメンバーで同窓会を実施。
高野町	移住する家の問題が深刻で、貸してくれる人がいなかったり、改修費用が高く、補助金の手続きも難しい。	令和６年度から補助金の補助対象範囲を大幅に拡大（それに伴い補助率、補助上限額を変更）
みなべ町	県はハザードマップのところはダメというが、実際そこに住みたい人は多い。	危険地域への移住を推進することになるため、補助金の対象とすることは困難。
白浜町	地域おこし協力隊が任期終了の3年で帰ってしまうので、地域に定着をしてもらいたい。	地域おこし協力隊のOB・OG組織を立ち上げ、相談できる体制を構築するなど、定住に向けた取組を実施。
すさみ町	今後２拠点居住の推進を目的に住民票を２箇所を持つことができる制度をつくってほしい。	法律改正が必要であり、県単位での対応は困難。
すさみ町	すさみ町全域を和歌山県で初めて3Dマップで全部デジタル化しようっていうところを、今、5年度から7年度にかけて今取り組んでいるところ。	－

【空き家対策に関する意見例】

開催地	主なご意見	対応状況等
御坊市	空き小屋居場所プロジェクトを立ち上げ、空き家を協力業者さんに無償で改修などをしてもらった。協力してくれた業者さんを、行政から表彰して欲しい。	感謝状（振興局長名）を代表を務める団体に贈呈。
田辺市龍神村	空き家改修補助金の制度が改正され、土砂災害特別警戒区域が補助対象外となった。危険なのは理解できるが、移住者が住みたいという希望を叶えるため、制度を見直してほしい。	県として危険のある区域への移住定住促進はできないため、制度の見直しは困難。
湯浅町	伝建地区内に空き家が多くなっているので、活用していくための支援をお願いしたい。	県外からの移住者を対象とした空き家改修補助金の対象を拡大。
広川町	空き家については、外から見えない状況なので、集約できる体制を作ったらよい。	空き家バンクへの登録件数が増えるような対策を検討中。
みなべ町	空き家の80万円の制度は使い勝手が悪く、町独自で30万円を上乗せしている。	令和6年度から補助金の補助対象範囲を大幅に拡大（それに伴い補助率、補助上限額を変更）
すさみ町	町が空き家を年間で借り上げ、中長期滞在や2拠点世帯に貸し出す仕組みを作ってはどうか。	移住者の住宅または移住希望者、関係人口の滞在施設に係る改修費支援として、「移住定住推進住宅整備事業補助金」を令和7年度に創設。

【道路に関する意見例】

開催地	主なご意見	対応状況等
田辺市中辺路町	道路の側溝にゴミや草木が生い茂って通行に危険な箇所があるので、整備をお願いしたい。	担当課において現地調査のうえ対応済。
岩出市	関空と京奈和の連絡道路について、流通や経済を一気に活性化すると思うが、どうお考えか。	関空と京奈和の連絡道路については県も紀の川市も命がけで取り組んでいる。大阪府泉南地域にもメリットがあるので、各首長と商工会と共に取り組んでいく。
有田川町	国道480号等清水地域の道路について、拡幅やトンネル整備等の工事を促進してほしい。	国道480号については、有田川町と高野町を結ぶ幹線道路として整備を進めている。県道美里龍神線についても、順次拡幅等の工事を行っている。

【交通に関する意見例】

開催地	主なご意見	対応状況等
海南市	地域の住民がタクシーの代わりになれるような仕組みづくりをしてほしい	県内で日本版ライドシェアを導入できないか検討中。
田辺市	外国人観光客が増えている中、奈良交通以外も交通系ＩＣカードやクレジットカードのタッチ決済を導入するべき。	キャッシュレス決済システムの導入経費の一部を補助するなど、バス事業者のキャッシュレス化への取組を支援。
かつらぎ町	近隣のスーパーが閉店してしまい、買い物難民となっている高齢者がいる（近隣のスーパーまで1時間弱歩いている人もいる）ので、ご支援いただきたい。	かつらぎ町と町内にある観光バス会社が買い物支援についての協定を締結。令和６年度は妙寺地区などと食品スーパーなどが集積する町西部の笠田地区を結ぶ「買い物支援バス」を運行した。
高野町	タクシーなどの公共交通の不足が問題。宿坊の宿泊客が夜間に外出しづらい。富貴地区でも交通手段で困っている。	町内関係者に現在の状況を確認したところであるが、今後、地域住民や観光客からの具体的な要望があれば、デマンド交通や自家用有償旅客運送の導入検討など、必要に応じて振興局及び交通担当課が町と連携し対応する。
日高川町	美山村の川原河を拠点に、地域の商店と連携して、ドローンとＥＶ自動車を活用した物流事業を行っている。	—
北山村	飛び地である北山村において、現在自家用有償運送は認められているが、もっと自由に動けるような制度を作っていただきたい。	北山村に対し、現行制度上で実現可能な手法を助言済。

【農業に関する意見例】

開催地	主なご意見	対応状況等
海南市	県から農業士へ新品種等の早期の情報提供をお願いしたい	新品種に関する情報提供について、本人に説明済み。
海南市	和歌山大学に農学部をつくれば、みかんや柑橘に関心ある人は和歌山に残ってくれるのではないか。	農学部は必要だが、まずは県農林大学校の充実に取り組んでいる。
紀の川市	農家で儲けたいというのがある。楽しみながら所得を上げ、自分だけでなく皆でできることがないか考えている途中。若い人でも農家をやりたいと思ってくれる人が増えれば良い。	－
紀の川市	自分が農家をするのではなく、農家の方がプライドをもって仕事ができるよう、ブランド価値を上げる仕事がしたい。紀の川市の農業資源を観光につなげたい。	－
かつらぎ町	有機栽培の技術を標準化し、学べるようにしていくことができないか。	通常業務（有機栽培実践グループの定例会に参加し、その際の質疑応答）により対応する。
広川町	農業で、誰かが使わなくなったトラクター等を貸してもらえるような仕組みを作ってほしい。	J Aを含めて農業機械のレンタルを行っている民間事業者が存在。加えて、県では、令和5年度から新規就農者向けに中古機械購入に対する補助事業を実施しているので活用願う。
広川町	農業の優秀な後継者を育成していくため、県内の大学にも農学部を設置してほしい。	農学部は必要だが、まずは県農林大学校の充実に取り組んでいる。
美浜町	6月の大雨により農家への被害が甚大であり、罹災者への支援をお願いする。	県として最大限対応する。
印南町	わさび田を再生している。月1回作業している。 全国的に有名なわさびの発祥の地が印南町であると、こども達にも伝えていきたい。わさびは外国人にも注目されている食材なので、携われたことを誇りに思っている。	地元協議会、町、振興局の3者で協議。マンパワー不足等の課題があるものの、活動を続けていくために必要に応じて相談に乗る。
日高町	法人で機械を用意して作付けまで行い、日常管理を新規参入者や地域の方をお願いするようなライトな農業を楽しんでもらうことで、地域活性化につなげたい。	－

【鳥獣害対策に関する意見例】

開催地	主なご意見	対応状況等
紀美野町	鹿の被害がすごく、花や野菜を育てても全部やられてしまう。	県としても大きな問題として認識しているため、農作物鳥獣害防止総合対策事業などにより引き続き取り組みを実施。
紀美野町	果樹やハゼの栽培においてシカによる食害がひどく、一層の獣害対策をお願いしたい。	今後もより効果的な対策を検討していく。

【林業に関する意見例】

開催地	主なご意見	対応状況等
田辺市	山林は道のない場所も沢山あり、大きく育っているが切りに行けない現状。県としてインフラ整備を行っていただければ紀州材の単価も安定する。	林道整備を促進するため、今年度から林道整備を行う市町村に対する補助金の補助率を引き上げた。また併せて、県代行事業として県が市町村に代わり広域的な幹線林道の開設に着手。
田辺市龍神村	従来の林業だけでは経営が厳しく、今後、林業と観光を結びつけていきたいので、県においても林業と観光の連携について検討してもらいたい。	具体的な提案があれば振興局で対応する旨、説明。
有田川町	林業への就業や定着には所得の向上が必要で、そのために木材の価格を上げるような施策などの支援をお願いしたい。	令和5年8月から、木材価格の向上等を目的として、木材の需給情報をリアルタイムで共有できる機能を備えた森林クラウドシステムの運用を開始した。

【水産業に関する意見例】

開催地	主なご意見	対応状況等
太地町	漁業を行っているが、和歌山県警の職員が常駐するようになって以降、安心して仕事ができるようになった。	—
みなべ町	漁業者も高齢化が進んでいく中で、引退しても漁船の処分費用が高く、処分できないことがあり、津波災害時に二次災害を引き起こす恐れがある。処分費への補助をお願いしたい。	漁船は個人の所有物であり、個人の責任で処分をするものという県の考え方を本人に説明した。

【製造業に関する意見例】

開催地	主なご意見	対応状況等
田辺市	（食品衛生法の改正により）漬物を製造するのに許可申請とHACCPに沿った衛生管理が必要となったが、費用もかかるうえ、高齢者にHACCPの説明を行っても理解されづらいので、良い方法がないか。	食品衛生法の改正に伴う漬物製造業の許可申請について、事業者の規模に応じて適正に衛生管理が担保できるよう個別相談にも対応するなど、伴走型支援を実施。
橋本市	県外の展示会に出展し、高野口の地場産品をPRしたいが補助金はないか。	橋本市から、中小企業者の販路拡大に向けた支援策を紹介。
広川町	広川町をPRできるような商品を作りたいと思っているが、新しいことにチャレンジすることに腰が重い生産者が多いと感じている。県としても新しい商品を作る際の後押しをお願いしたい。	ヒアリングを行った結果、将来的に広川町内の生産者と商品開発を行う計画が具体化した段階で、振興局に相談したいとのこと。その際には、広川町内の生産者の紹介等協力を行う。

【子育て・教育に関する意見例】

開催地	主なご意見	対応状況等
新宮市	高齢者が多いので、こども食堂でなく、高齢者食堂をやろうと思っているが、補助いただけるのか。	こども食堂は世代間交流の場なので、名称が違ってても、こどもがいれば補助対象になる。
岩出市	子供を安心して産むことのできる環境がない。産んだ後の支援ではなく、産む場所をどうにかするべき。	産科の医師がいない。和歌山県立医科大学には、一定期間地域医療に従事した場合に貸与を受けた修学資金の返還を免除する制度があり、そこに産科をいれた。数年後にはその制度の利用者が育ってくるので、少しずつ増えていくと考えている。
岩出市	岩出市は子供を連れていける場が少なく、人が集まれる場をつくりたいという思いから、子ども食堂を運営している。現在は公民館を借りているが、古民家を活用しもっと気軽に行ける場所がつくれたらと思っている。	－
湯浅町	田村地区には学童保育がなく、子育て中はほとんど仕事にならない。学童保育が必要だと思う。	湯浅町教育委員会が田村地区と、地域における子供の放課後の居場所づくりについて協議中。
有田川町	子ども食堂について、現状の補助金は立ち上げ支援で備品などは対象になるが、継続した運営を考えた場合、人件費的なところの補助があればありがたい。	軌道に乗ってきたら運営費の補助も検討するが、制度的に人件費の対応は難しいと回答。令和7年2月に有田地域こども食堂支援ネットワークを立ち上げ、サポーターの勧誘等を行っている。
日高町	給食費の無償化について、国の責任で財源を確保するよう、県からも働きかけて欲しい。	給食費無償化は国の責任でやるべきなので、全国知事会や関西広域連合からも申し入れている。
美浜町	母親子どもクラブという名称自体、育児は母親がするものと偏見的な名称になっている。学年の垣根を超えて、地域の子供たちが仲良くなるような行事を実施している。	－
上富田町	他所の自治体では、こども食堂の運営を外部に委託したり、食材に対して補助を支給したりとかあるが、県内では見受けられないが、今後そういった展開もあるのか。	和歌山県こども食堂応援ネットワーク（事務局：県社会福祉協議会）が主体となり、令和6年度「和歌山県こども食堂応援ネットワーク 活動助成事業」を実施。県内のこども食堂に対して、食材費等のこども食堂運営に係る経費を支援した。
上富田町	先生の負担を減らしていくという点でもDX化が課題。学校の現場だとタブレットが配布されて4年ぐらい経つが、インフラとして回線が弱い。インフラの整備をお願いしたい。	令和7年度にタブレットの入れ替え及びアクセスポイントの見直しを実施予定
太地町	太地町を愛する子どもを育てるため、福祉学習に力を入れているので、補助金や他府県の事例などの情報提供をいただきたい。	福祉学習等に関する事例紹介や高齢者の交流の場づくりに関する補助制度を紹介。
太地町	コロナ禍で一時的に県内からの修学旅行が増加したものの、現在は減少してきている。県内の学校に和歌山県の良さを知ってもらえるよう、教育旅行や研修等を推進していただきたい。	県教育委員会として、県内の教育旅行等を推奨。
北山村	北山村の小中学校は少人数なので、大勢の生徒がいる高校等に進学しても上手くコミュニケーションがとれるように、新宮市の小中学生等との交流の場を設けていただきたい。	北山村において、新宮市内の中学校との交流を実施。

【災害に関する意見例】

開催地	主なご意見	対応状況等
紀の川市	自治体と災害に関する協定を締結しているが、いつおこるか分からない災害に向けて、関係者が一堂に会する機会を作ることが必要である。	紀の川市と提案者で対応を協議中。
紀美野町	災害時にペットと一緒に過ごせる避難所を設置する取り組みを進めてほしい。 動物愛護センターを避難場所として活用できないか。	動物愛護センターは災害時は放浪動物の保護収容や動物救援本部の中枢を担うため、避難場所としての活用は困難であるが、国の防災基本計画変更の変更に伴う県地域防災計画の見直しにおいて、被災者支援等の観点から避難所でのペットの適切な受入れについて明記するとともに、市町村に対し同行避難の重要性を周知。
有田川町	大きな災害が発生した際に障がい者が避難する場所について検討いただきたい。	能登半島地震を踏まえた防災・減災対策の検証の中で災害時要配慮者など、優先的な避難者を整理。1.5次避難所の必要性や支援体制などを検討し、本人へ回答。
湯浅町	女性を生かした防災の取り組みを行ってほしい。	県内の女性消防団員の活動の活性化を図るとともに、団員同士の絆を確保することを目的として、公益財団法人和歌山県消防協会が主催する女性消防団員研修をご案内した。
印南町	南海地震等災害時に備え、町内建設業者の連携を高め、連絡体制を構築し、各業者が保有する資機材のリストを町に渡している。毎年更新していきたい。	—
上富田町	町の防災士29名全員に手紙を送って、防災士のネットワークを作ろうとしている。建設業連携もやりたいが、なかなかどこから手を付けていいか分からないので教えていただきたい。	令和6年度に西牟婁管内において防災士ネットワーク研修交流会を実施（令和7年2月21日）。令和7年度については、全県（各振興局管内）にて実施予定。

【暮らしに関する意見例】

開催地	主なご意見	対応状況等
田辺市上芳養	上水道を引いてほしい。	田辺市に対し、要望があった旨を伝えた。
かつらぎ町	地域内で働く場所がない（経済が回っていない）ことが課題と感じる。地域づくりに携わりたいと思っている若い世代（30～40代）もいるが、地域で収入を得ることが難しく、結果地区外で働きに出ており、疲れて帰ってくるため地域活動に参加できない現状がある。地域内で経済が活性化されるようなイベントや仕組みが作りたいと考えている。	－
かつらぎ町	・地域の課題は「住居」「仕事」「教育」と思う。学校が廃校になり就学人口が急激に減っている。地域に若い方が来ることも重要だと思うが、本当に必要なのは45～50歳くらいの子育ても終わった元気な方。 ・コミュニティバスについて、かつらぎ町民とそれ以外の利用者で値段差をつけて黒字化を目指すべき。	かつらぎ町長より、コミュニティバスについては値段差をつけるのは非常に煩雑になること、年間数千万の費用がかかり、そのため経費を運賃で賄うことは不可能であることを説明。
九度山町	シニア食堂を計画している。高齢者の多い地域で、個食や栄養失調という食事の問題がある。みんなでわいわいと子どもからお年寄りまで一緒に食事できたらいい。	タウンミーティングの場で類似の取組や関連補助金制度について案内。実施に向けた取り組み状況についてヒアリングを実施。
那智勝浦町	和歌山県としてもパートナーシップ制度を導入していただきたい。	和歌山県パートナーシップ宣誓制度を令和6年2月1日に施行。

【医療・介護に関する意見例】

開催地	主なご意見	対応状況等
新宮市	三重県含む紀南地方の産婦人科医が少ないので、充実をお願いしたい。	周辺自治体にも協力をいただき、分娩可能な体制維持を支援。
新宮市	介護職員の確保に苦労。ヘルパーの資格取得に費用がかかるので補助がないか。	県の介護・福祉人材確保のための支援策を説明。
新宮市	介護の前の見守り時期を伸ばすための居場所づくりをしているが、ボランティアではやる人がいない。補助があれば、やる人も増えるのでは。	県のMCI高齢者居場所づくり支援事業補助金を説明。

【タウンミーティングに関する意見例】

開催地	主なご意見	対応状況等
有田川町	今回のように、様々な分野で活動されている方々と連携を取ることができる場を今後も設定してほしい。	タウンミーティングの参加者と有田川町、振興局で、連絡会議を開催している。
印南町	真妻わさびなど印南ブランドを残していきたい。また、タウンミーティングのような集まりを町民にもっと知ってもらいたい。	今後もタウンミーティングが継続予定である旨を説明。